

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-331417

(43)Date of publication of application : 30.11.2001

(51)Int.Cl.

G06F 13/00
 G06F 3/16
 H04Q 7/38
 H04M 3/42
 H04M 3/53
 H04M 11/10

(21)Application number : 2000-147393

(71)Applicant : NEC CORP
 NEC ENG LTD

(22)Date of filing : 19.05.2000

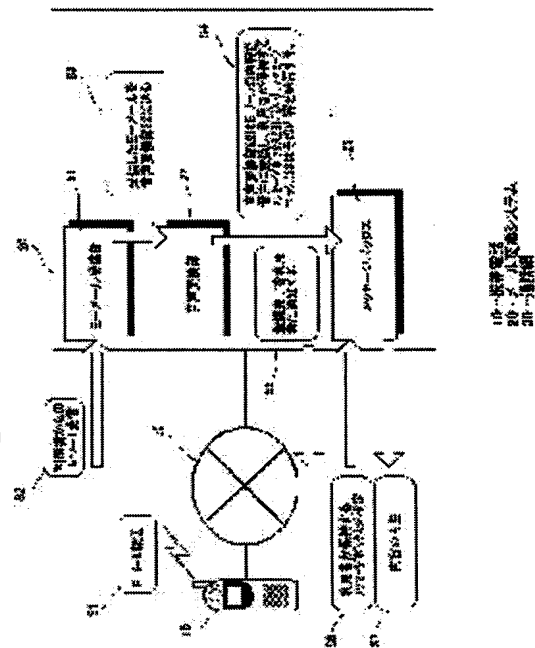
(72)Inventor : NAKAMURA KOICHI
 GOTO HIROICHI

(54) E-MAIL/VOICE CONVERSION/VOICE/E-MAIL CONVERSION SERVICE AND MAIL CONVERSION SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an E-mail/voice conversion/voice/E-mail conversion service and a mail conversion system by which a voice message and E-mail are freely exchanged between a portable terminal and a telephone.

SOLUTION: This system is provided with an E-mail reception part for receiving the E-mail from a portable telephone and sending the E-mail to a voice conversion part, a voice conversion part for converting the contents of the E-mail to the voice message and recording it in a message box, a message box for preserving the E-mail converted to the voice message and selectively reproducing the voice message when reproduction is requested from the portable telephone, a voice recording part for recording the contents of communication and sending them to a document conversion part, a document conversion part for converting the contents recorded in the voice recording part to a document and an E-mail sending part for sending the E-mail to a specified E-mail address.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 13.04.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 24.11.2004

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

ことを特徴とする請求項4または6に記載のメール変換システムに存する。また、この発明の請求項8に記載の発明の要旨は、利用者側の電話または利用者から指示された代理の者からかかってきた通話の内容を録音する音声録音部と、前記音声録音部で録音された内容を文書に変換する文書変換部と、前記文書変換部で変換されたEメールを利用者の携帯電話が指定するEメールアドレス宛に通信網を介して送付するEメール送付部を有することを特徴とする請求項5または6に記載のメール変換システムに存する。また、この発明の請求項9に記載の発明の要旨は、利用者が、前記通信網を介して電話を用いて受信したEメールをメール変換システムに伝送し、前記通信網を介して伝送されたEメールを前記Eメール受信部で受信して前記音声変換部に送り、これに依りて前記音声変換部が、当該受け取ったEメールの内容を音声メッセージに変換し利用者毎に存在する前記メッセージボックスに送り、前記メッセージボックスが当該音声メッセージを録音し、音声メッセージが前記メッセージボックスに録音された後に、利用者が指定しているEメールアドレスまたは電話番号の電話に対して録音完了を前記音声変換部が通知し、利用者がシステム側に電話をかけ、利用者が保持する前記メッセージボックスを指定し、これに依りて前記メッセージボックスが、録音されている音声メッセージの内容を再生することを特徴とする請求項7に記載のメール変換システムに存する。また、この発明の請求項10に記載の発明の要旨は、利用者の電話機にかかってきた着信をシステム側に電話転送を行えるように転送登録しておき、発信元からかかってきた着信を前記音声録音部に転送し、これに依りて前記音声録音部が、Eメールで録音内容を利用者の携帯電話に送付することを告げ、発信者からの音声メッセージを録音し、当該録音後に、当該録音されている音声メッセージを前記文書変換部へ送り、これに依りて前記文書変換部が、前記音声録音部から送られてきた音声メッセージを文書に変換し、前記Eメール送付部へ送り、これに依りて前記Eメール送付部が、あらかじめ指定されているEメールアドレスへ前記通信網を介してEメールを利用者の携帯電話に発信し、利用者が携帯電話を用いて発信者からのEメールの内容を確認することを特徴とする請求項8に記載のメール変換システムに存する。

【0009】

【発明の実施の形態】本発明の第1の特徴は、利用者側の電話からEメール（文字形式）が転送された際に、当該Eメール（文字形式）を音声メッセージ（音声形式）に変換し、利用者毎に設定されているメッセージボックスに変換後の内容を音声メッセージ（音声形式）で録音することで、利用者がシステム側に利用者側の電話をかけて当該録音されている内容を確認できる点にある。

【0010】そして第2の特徴は、利用者側の電話にかかってきた通話の内容を録音し、当該録音された通話の内容を文書（文字形式）に変換し、その後、あらかじめ指定されているEメールアドレスに当該文書を送付できる点にある。以下、本発明の実施の形態を図面に基いて詳細に説明する。

【0011】図1は、Eメールの音声変換サービスを実行する場合、本発明の実施の形態に係るメール変換システム（音声形式）のEメール変換サービスを実行する場合の機能ブロック図である。図1において、10は携帯電話、20は本実施の形態のメール変換システム、21はEメール受信部、22は音声変換部、23はメッセージボックス、30は通信網を示し、図2において、10は携帯電話、20は本実施の形態のメール変換システム、30は通信網、40は電話機、51は音声録音部、52は文書変換部、53はEメール送付部を示している。

20 【0012】図1、図2を参照すると、本実施の形態のメール変換システム20は、利用者側の携帯電話10からのEメール（文字形式）を通信網30を介して受信し、音声変換部22に当該Eメール（文字形式）を送るEメール受信部21と、Eメール（文字形式）の内容を音声メッセージ（音声形式）に変換し利用者側の携帯電話10が保持するメッセージボックス23に録音する音声変換部22と、音声メッセージ（音声形式）に変換された利用者側の携帯電話10からのEメール（文字形式）を保存するとともに、利用者側の携帯電話10から再生の要求があった際に該当該録音者であるか確認し、該当当該録音者であってかつ音声メッセージ（音声形式）を保持している場合に当該音声メッセージ（音声形式）を選択的に再生するメッセージボックス23と、利用者側の携帯電話10または利用者から指示された代理の者からかかってきた通話の内容を録音して文書変換部52に内容を送る音声録音部51と、音声録音部51で録音された内容を文書に変換する文書変換部52と、文書変換部52で変換されたEメール（文字形式）を利用者側の携帯電話10が指定するEメールアドレス宛に通信網30を介して送付するEメール送付部53を中心にして構成されている。

40 【0013】次に、メール変換システム20の動作（Eメールの音声変換・音声のEメール変換サービス）について説明する。本実施の形態のメール変換システム20で実行されるEメールの音声変換・音声のEメール変換サービスは、Eメール（文字形式）の音声変換サービスと音声メッセージ（音声形式）のEメール変換サービスとのサービスを備えている。

50 【0014】まず、図1を参照してEメール（文字形式）の音声変換サービスについて説明する。図1を参照

すると、本実施の形態では、利用者は、通信網30を介して携帯電話10を用いて受信したEメール（文字形式）をメール変換システム20に転送する（ステップS1）。

【0015】その後、通信網30を介して転送されたEメール（文字形式）をEメール受信部21で受信して（ステップS2）音声変換部22に送る（ステップS3）。

【0016】これに依りて音声変換部22は受け取ったEメール（文字形式）の内容を音声メッセージ（音声形式）に変換し利用者毎に存在するメッセージボックス23に送り、またメッセージボックス23が当該音声メッセージ（音声形式）を録音する（ステップS4）。【0017】音声メッセージ（音声形式）がメッセージボックス23に録音された後に、利用者が指定しているEメールアドレスまたは電話番号の携帯電話10に対して録音完了を音声変換部22が通知する（ステップS5）。

【0018】その後、利用者はメール変換システム20に電話をかけ、利用者が保持するメッセージボックス23を指定する（ステップS6）。

【0019】これに依りてメッセージボックス23は録音されている音声メッセージ（音声形式）の内容を再生する（ステップS7）。

【0020】以上説明したように本実施の形態によれば、利用者側の携帯電話10からEメール（文字形式）が転送された際に、当該Eメール（文字形式）を音声メッセージ（音声形式）に変換し、利用者毎に設定されているメッセージボックス23に変換後の内容を音声メッセージ（音声形式）で録音することで、利用者がシステム側に電話をかけて当該録音されている内容を確認できるようにするという効果を奏する。

【0021】次に、図2を参照して音声メッセージ（音声形式）のEメール変換サービスについて説明する。図2を参照すると、本実施の形態では、まず、利用者が、自宅の電話機40にかかってきた電話（着信）を、

がイスラフア（商標、NTTの提供している電話サービスの1つ）などの電話転送サービスを使用し、メール変換システム20に電話転送を行えるように転送登録しておく（ステップS21）。

【0022】その後、発信元からかかってきた電話（着信）が音声録音部51に転送される（ステップS22）。

【0023】これに依りて音声録音部51は、Eメール（文字形式）で録音内容を利用者側の携帯電話10に送付することを告げ、発信者からの音声メッセージ（音声形式）を録音し、当該録音後に、当該録音されている音声メッセージ（音声形式）を文書変換部52へ送る（ステップS23）。

【0024】これに依りて文書変換部52は、音声録音部51から送られてきた音声メッセージ（音声形式）を文書（文字形式）に変換し、Eメール送付部53へ送付する（ステップS24）。

【0025】これに依りてEメール送付部53は、あらかじめ指定されているEメールアドレスへ通信網30を介してEメール（文字形式）を利用者側の携帯電話10に発信する（ステップS25）。

【0026】これにより、利用者は携帯電話10を用いて発信者からのEメール（文字形式）の内容を確認する（ステップS26）。

【0027】以上説明したように本実施の形態によれば、利用者側の携帯電話10にかかってきた通話の内容を録音し、当該録音された通話の内容を文書（文字形式）に変換し、その後、あらかじめ指定されているEメールアドレスに当該文書を送付できるようにするという効果を奏する。

【0028】以上説明したように本実施の形態によれば以下に掲げる効果を奏する。まず第1の効果は、Eメールの音声変換サービスを実行する場合にあつては、Eメール（文字形式）を通信網30を介して受信する端末が手元になくてもEメールの音声変換・音声のEメール変換サービス（メール変換システム20）に電話をかけることでEメール（文字形式）の内容を確認できることである。

【0029】また第2の効果は、音声メッセージ（音声形式）のEメール変換サービスを実行する場合にあつては、自宅の留守番電話の内容などを、仕事場や外出先で携帯電話10やモバイル端末から確認することができることである。

30 【0030】また第3の効果は、音声メッセージ（音声形式）のEメール変換サービスを実行する場合、自宅にかかってきた電話（着信）を転送サービスなどで携帯電話10に転送されたときに電話機40に出られないサービスでも、Eメール（文字形式）を用いてメッセージを受け取ることができることである。

【0031】そして第4の効果は、音声メッセージ（音声形式）のEメール変換サービスを実行する場合にあつては、Eメール（文字形式）を通信網30を介して受信した携帯電話10やモバイル端末にデータを書留しておけるので、音声メッセージ（音声形式）の内容をEメール（文字形式）の形で確認できることである。

【0032】なお、本発明が上記実施の形態に限定されず、本発明の技術思想的範囲内において、上記実施の形態は適宜変更され得ることは明らかである。また上記構成部材の数、位置、形状等は上記実施の形態に限定されず、本発明を実施する上で好適な数、位置、形状等にすることができ。また、各国において、同一構成要素には同一符号を付している。

【0033】

【発明の効果】本発明は以上のように構成されているの

で、以下に掲げる効果を奏する。まず第1の効果は、Eメールの音声変換サービスを実行する場合にあっては、Eメールを受信する端末が手元になくてもEメールの音声変換・音声のEメール変換サービスに電話をかけることでEメールの内容を確認できることである。また第2の効果は、音声メッセージのEメール変換サービスを実行する場合にあっては、自宅の留守番電話の内容などを、仕事場や外出先で携帯電話やモバイル端末から確認することができることである。また第3の効果は、音声メッセージのEメール変換サービスを実行する場合、自宅にかかってきた電話を転送サービスなどで携帯電話に転送されたときに電話に出られないケースでも、Eメールを用いてメッセージを受け取ることができ、Eメール変換サービスを実行する、音声メッセージのEメール変換サービスを受ける、音声メッセージの内容をEメール変換サービスで確認することができる。

【図面の簡単な説明】

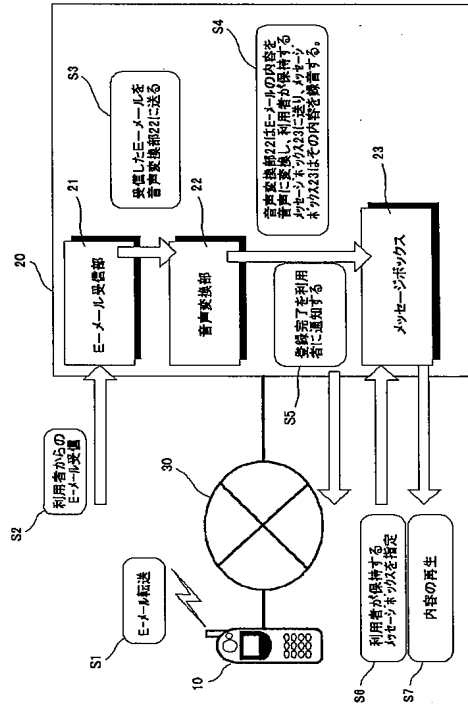
【図1】 Eメールの音声変換サービスを実行する場合の、本発明の一実施の形態に係るメール変換システムの機能ブロック図である。

【図2】 音声メッセージのEメール変換サービスを実行する場合の、本発明の一実施の形態に係るメール変換システムの機能ブロック図である。

【符号の説明】

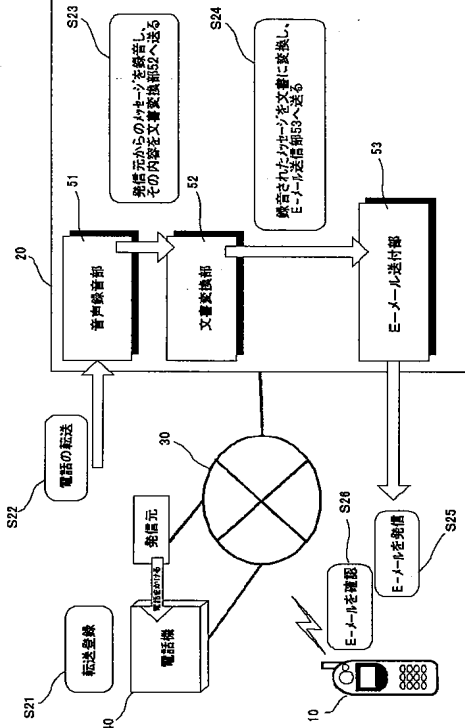
- 10...携帯電話
- 20...メール変換システム
- 21...Eメール受信部
- 22...音声変換部
- 23...メッセージボックス
- 30...通信網
- 40...電話機
- 51...音声録音部
- 52...文章変換部
- 53...Eメール送付部

【図1】



- 10...携帯電話
- 20...メール変換システム
- 30...通信網

【図2】



10...携帯電話
20...メール変換システム

フロントページの続き

識別記号		F I		Fターム(参考)	
(61) Int. Cl. ⁷		H 0 4 M	11/10	H 0 4 M	11/10
		H 0 4 B	7/26	H 0 4 B	7/26
					1 0 9 L
(72) 発明者	後藤 博一	Fターム(参考)			
	東京都港区芝浦三丁目18番21号	5K015	AA00	AA07	AB00
	エンジニアリング株式会社内	GA02	GA07	HA03	
		5K024	AA45	AA72	BB00
		CC01	CC11	DD01	EE06
		FF03	FF06	GG03	GG12
		5K067	AA21	AA29	AA34
		DD23	DD53	DD54	EE02
		EE16	FF02	FF26	FF40
		HH14	HH17	HH21	
		5K101	KK02	KK05	LL01
		NN03	NN07	NN08	NN13
		NN21	RR05	SS07	
		9A001	HH18	JJ14	